



新しい次元へ進む企業たち

令和7年4月30日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

自由経済システムの有する現実、西洋資本における経済の独占である。それらが先端技術とともに新しい未来を模索しているのである。

これらはグローバル経済の本質的な現実であり、その現実を否定して企業経営を求めることはできない。

これら強大な資本力が株式市場に流れ、新規産業の育成を与える。それら資本が未来を実現するという構図が存在するのである。

これら資本主義の原則は、資本の流入において為替を与え、その国家の豊かさを創造するのである。

また新たな技術やシステムはもはや今日の趨勢であり、さらなる未来はさらなる現実を有するのである。

これは企業がその競争原理を自己とする中、新たな技術やシステムへの転換を求められることは不可避の現実であると理解できるものである。

これら新たな需要は、今日の先端生産作業システムにおける高い生産性を有するものであり、それら現実が完全に経済の本質を転換させてしまったのである。

そのため新しいスタンダードにおける市場参加が今日のビジネスにおける要求であるということは正しいのである。

それら新しい基準が企業における新しい未来における企業経営の本質であることは正しいと判断するものである。

これらは既存環境が完全に自己転換を求めるものであるという認識を与えるものである。

これらは新たな生産性、コスト、技術、システムが新しい市場の基準であるということなのである。

これらは企業のアジャストを、新しい現実に対して要求されるものであり、それらが新しい現実と基準の要求であるという理解は完全に正しいのである。



これら企業転換は、既存基準の完全な転換に対する企業の正しい判断なのである。それら新しい企業基準における経営がより優れた現実を与えることは必ず存在するのである。